

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和7年6月30日 (第1回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	長島町 46404
地域名 (地域内農業集落名)	下山門野地区 (広野、馬込、湯、汐見)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	81 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	73 ha
② 田の面積	11 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	62 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	8 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	4 ha
(参考)区域内における75才以上の農業者の農地面積の合計	36 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	11 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における75才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・野菜の値が平均して都会並みの年収が得られないと子どもに勧められない。
- ・バレイショの収穫時に人手不足。
- ・畑の進入路が狭いところは、今後耕作されなくなる。耕作者が高齢になると機械作業に危険を伴う。
- ・耕作可能な畑を得る情報不足。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・赤土バレイショを主要作物とし有機農業に切り替える。
- ・地域内外から農業を担う者を募る。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地バンクへの貸付けを進め、担い手(認定農業者等)への農地の集積・集約化を基本とし、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	45 %	将来の目標とする集積率	55 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
担い手が利用する農地面積の団地数を増やす			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
担い手に対する農地の中心に集積・集約化を進め、農地利用最適化推進委員及び農地中間管理事業推進員と調整し、団地面積の拡大を目指す。
(2)農地中間管理機構の活用方法
地域全体を農地バンクに貸し付け、担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。その際農地利用最適化推進委員等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3)基盤整備事業への取組
農地の大区画化・汎用化等の基盤整備を進める。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
地域内外から、多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、町及びJA等と連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
作業の効率化が期待できる防除作業は、委託を進める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input checked="" type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

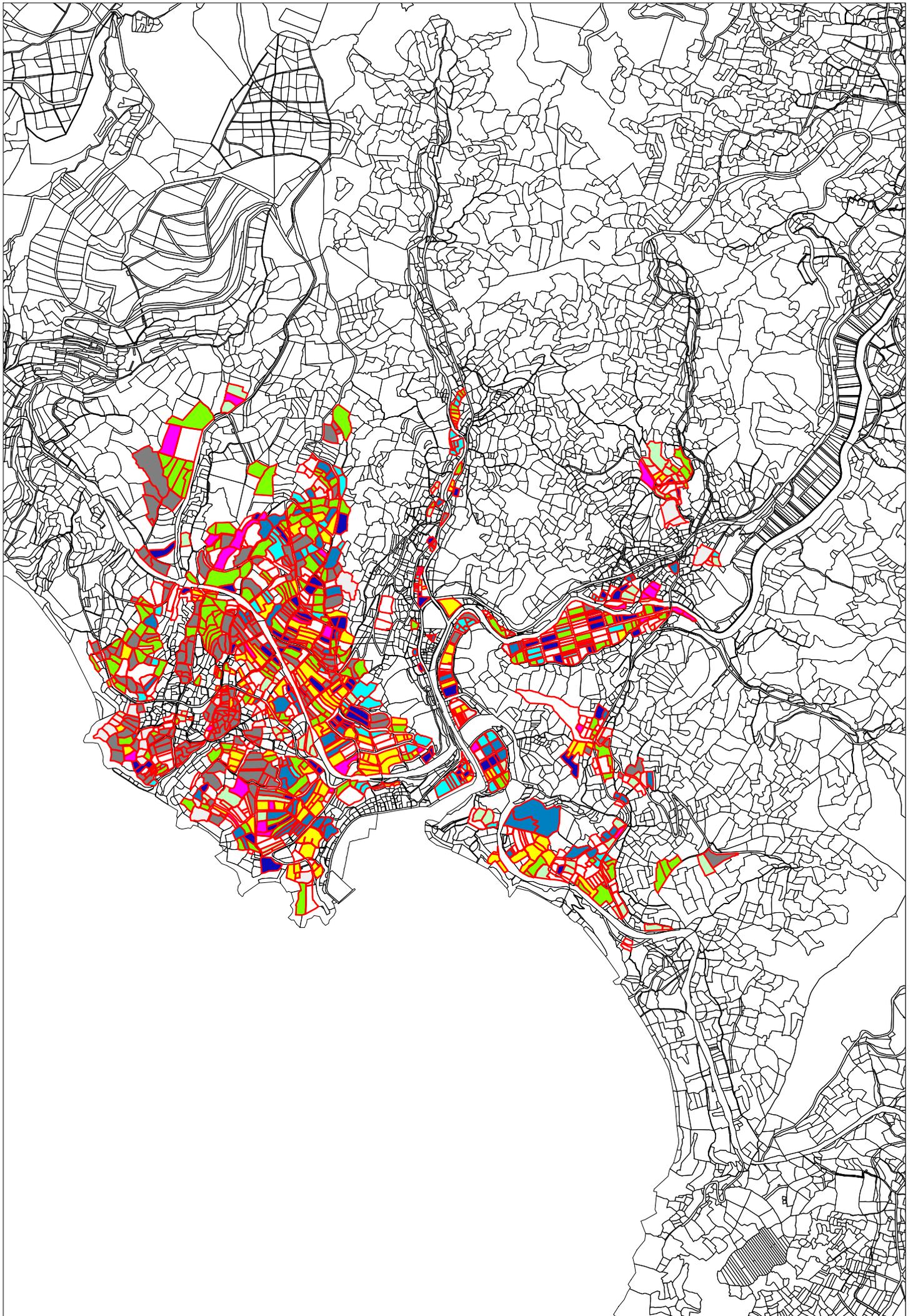
【選択した上記の取組内容】

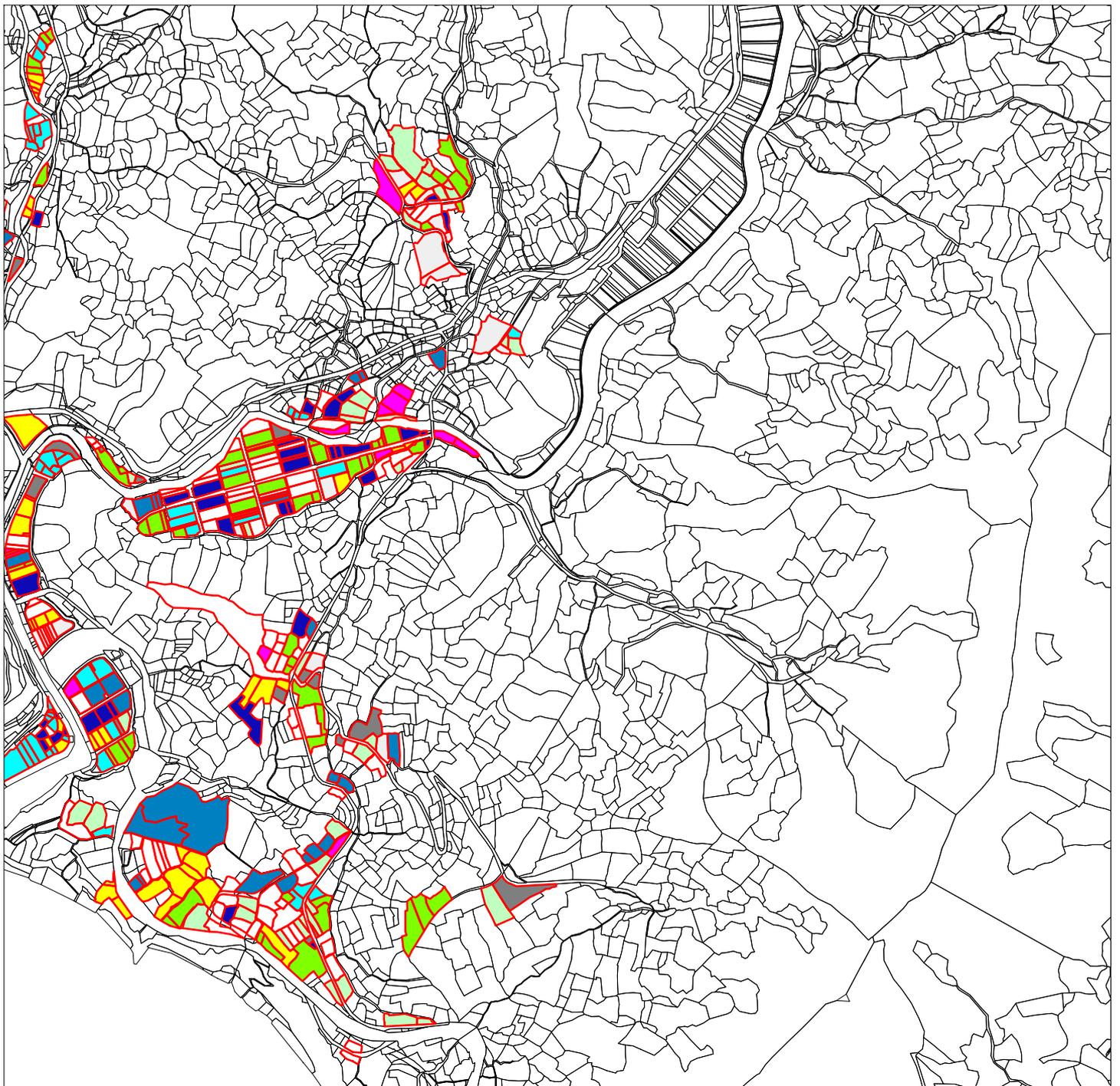
- ①「長島町鳥獣被害防止計画」を参考に、防護柵等を利用して農作物の被害と営農意欲の低下軽減を図り、集落点検マップ(侵入防止柵や檻の設置状況、放置果樹や目撃・被害発生場所等)づくりや、連絡網の整備や新たな捕獲人材を募集し、地域で育成していく。
- ②地域の特産物であるバレイショを段階的に有機農業に切り替えていく。
- ④畑地化に最適な作物の栽培を検討していく。
- ⑦農地の草刈り等や害虫駆除を適正に行い、耕作可能な状態を保つ。
- ⑧担い手の営農や農業を担う者の利用状況などを考慮の上、農業用施設整備を進める。
- ⑨集落で生産された飼料作物は、畜産農家に供給し、家畜排せつ由来堆肥は、有機農業に取り組む生産者などに供給する仕組みを構築する。(②⑧関連)

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農	野菜	16.50 ha	- ha	野菜	17.40 ha	- ha	A-227	
2	認農	野菜	3.60 ha	- ha	野菜	4.10 ha	- ha	A-181	
3	認農	野菜	1.30 ha	- ha	野菜	1.30 ha	- ha	A-183	
4	到達	野菜	2.30 ha	- ha	野菜	2.30 ha	- ha	H-3656	
5	認農	野菜	5.40 ha	- ha	野菜	5.40 ha	- ha	A-179	
6	到達	野菜	1.30 ha	- ha	野菜	1.30 ha	- ha	H-3671	
7	認農	野菜	1.01 ha	- ha	野菜	1.64 ha	- ha	A-206	
8	認農	野菜	1.70 ha	- ha	野菜	2.00 ha	- ha	A-185	
9	認農	野菜	5.30 ha	- ha	野菜	5.30 ha	- ha	A-188	
10	認農	野菜	2.58 ha	- ha	野菜	2.91 ha	- ha	A-223	
11	認農	肉鶏	1.80 ha	- ha	肉鶏	3.20 ha	- ha	A-186	
12	認農	野菜	1.52 ha	- ha	野菜	1.52 ha	- ha	A-180	
13	認農	野菜	2.30 ha	- ha	野菜	2.30 ha	- ha	A-182	

上記のほか複数の耕作者がいます。





202506140949 GN22068N : hitonouji



H-5308	H-4607	H-4257	H-4260	H-5518	H-5486	H-5517	H-5111	H-4637	H-5115	H-3961	H-4107
H-4830	H-4265	H-655	H-4267	H-4268	H-4269	H-4270	H-4914	H-4380	H-3977	H-4276	A-227
H-5019	H-4418	H-4283	H-5220	H-4730	H-4014	H-5279	H-4294	A-179	H-3688	H-3699	H-4453
A-182	H-3713	H-3714	H-3716	H-3719	H-3720	H-3725	H-3732	H-3741	H-3742	H-3744	H-3750
H-3756	H-3757	H-5158	H-3767	H-3773	H-3774	H-5487	H-3776	H-3778	A-185	H-3786	H-3788
H-3790	H-3793	H-3794	H-3796	H-3800	H-3802	H-3804	H-3805	H-3807	H-3809	H-3812	A-186
H-3815	H-3817	H-3819	H-3818	H-3138	H-3822	H-3825	H-3826	H-4514	A-188	H-4054	H-4518
H-4521	H-4968	A-223	H-4877	A-206	H-3866	H-3895	H-4976	H-4570	H-001	H-3925	H-4333
H-4897	H-4595	H-3938	H-5480	H-4676							